

「最初が肝心かなめ」

学長 荒川哲男

昨日、市大としてめでたく最後の新入生を迎え、いよいよ明日から新学期が始まる。今年度は、昨年度の学びを活かし、万全の感染防止対策で教室の安全性を確保したうえで対面授業を基本とする。

しかしながら、3月下旬から大阪府の感染者数が急増。一日当たりの感染者数でついに東京都を超えてしまった。特徴は若者の比率が高いこと。ここから、感染が生命にかかわるような高齢者層での感染増加へと繋がっていくのは過去の例を見るまでもない。

感染拡大の原因はほぼ会食だ。本学でも、皆さんの日ごろの対策のわずかな隙について、キャンパス閉鎖になっていたかもしれない『ヒヤリハット』が、実際、数回起こっている。

クラスターが発生してしまうと、二次感染・三次感染を防ぐためにキャンパスへの立ち入りを禁止することになり、授業や研究、課外活動に大きな影響を及ぼすことになる。また、あってはならないことだが、感染者と推定された個人や団体、あるいはそれに留まらず、すべての市大生にまでバッシングが及んでしまうこともありうる。実際、他大学でそのような事例が起こっている。

新学期、安心・安全なキャンパスライフを有意義に過ごすために、昨年11月に発信したメッセージ第13報で提案した『感染拡大防止の2つのターゲット』（図1、図2）を再掲する。これを遵守し、大切な友達や家族を護ろう！

(図1)

4人以内での会食 注意どうする？

- ①大阪府「感染防止宣言ステッカー」表示店を利用する 
- ②テーブルに着いたら手指アルコール消毒 ※ミニボトルで携帯しましょう！ 
- ③食べ物・食器は共用しない 
- ④飲食する以外の時はマスク 
- ⑤可能な限りパーティション 
- ⑥2時間以内で終える 
- ⑦カラオケ行こか？ ありえへん！ 
- ⑧会食相手の連絡先を把握しておく。会食後2日以内に体調不良が発生したら、病院を受診して、会食相手にも連絡 

(図2)

家庭での過ごし方 注意どうする？

- ①玄関で手指アルコール消毒・手洗い 
- ②玄関付近か自室で着替え 
- ③距離と換気 
- ④食べ物・食器・タオルは共用しない 
- ⑤しゅっちゅう手指アルコール消毒・手洗い 
- ⑥可能な限りマスク 
- ⑦可能な限りパーティション 